

2つ目の窯と新しい仲間

時山炭を最後まで作っていた故川添金雄さんが使っていた窯をお借りすることができました。上の窯(2つ目)は下の窯(1つ目)より大きいので多く生産できそうです。

去年から一緒に製炭をしている青木さんが屋根を修繕し、炭出までやり終えました。青木さんは現場作業に慣れているので、いろいろと助言をもらったり、楽なやり方を教えてもらったりしていてとても頼りになる仲間です。

これからも時山炭製炭をやっていくということなので、みなさまには今後とも青木さんをよろしくお願い致します。



2つ目の窯@旧「時発電所」設備保存展示場対面

多良文化祭 2025



多良文化祭の様子

22・23日、多良文化祭の日にも雪が降っていましたが、多くの方が来てくれました。今回で3回目の参加になり、展示作品のテイストが変わったものや去年より迫力あるものなどの変化も感じられるようになってきました。様々な活動紹介もあり勉強になりました。

出店ではできた炭を置いて、叩いてもらい「いい炭になってきている」とのお褒めの言葉も頂きました。今回もとても刺激を受ける文化祭でした。

2月は雪が多く降り、除雪作業や塩化カルシウムを撒いてくれている方にはいつも感謝しています。

鍼灸師としての雑感 ～同病異治～



東洋医学では同じ症状でも患者様の状態によって治療方針が変わってきます。それを同病異治(どうびょういち)といいます。便秘で考えてみます。大腸に熱がこもって水分が少なくなっている場合がありますし、逆に冷えて大腸の働きが悪くなっている場合もあります。その熱や冷えはどこからきているのかを考えて治療するので、患者様の状態によって選ぶツボは変わってきます。

本などで「〇〇に効く××のツボ」と紹介されていることもありますが、効く人もいれば効かない人もいます。これは同じ症状でも病の原因が人によって違うからだと思います。